

審議事項

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会
第4回総会 審議事項

(第1号議案) 令和2年度事業報告 (案)	P 3
(第2号議案) 令和2年度収支決算 (案)	P 15
(第3号議案) 令和3年度事業計画 (案)	P 19
(第4号議案) 令和3年度収支予算 (案)	P 25
(第5号議案) 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催可否及び観客対応の決定 手続きについて (案)	P 27

1 主な会議の開催結果

月 日	会議名称	主 な 内 容
5月15日	第5回宿泊専門委員会の開催(書面議決)	「国体宿泊要項(三重県案)の改正」(案)、「大会宿泊要項の改正」(案)について審議し、決定
6月1日	第15回市町連絡調整会議の開催	「荒天時対応」、「観戦ガイドブック」等について説明
6月30日	第15回総務企画専門委員会の開催	「大会参加章等のデザイン(三重県案)及び入賞メダルのデザイン」(案)、「特別招待者の範囲」(案)等について審議、決定し、「会場地市町における競技日程の変更」(案)、「会場地市町における開催施設及び競技日程の変更」(案)について審議
6月30日	第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会の開催	「実施要綱」(案)、「競技実施要項」(案)、「リハーサル大会競技実施要項」(案)について審議し、決定
7月17日	第16回総務企画専門委員会の開催(書面議決)	「会場地市町における競技日程の変更」(案)、「会場地市町における開催施設及び競技日程の変更」(案)、「会場地市町における開催施設の変更」(案)について審議
7月17日	三重とこわか国体実施要項(総則)等の決定等	日本スポーツ協会 国体委員会において第76回国民体育大会の「実施要項(総則)」、「デモンストレーションスポーツの競技会場変更」の決定及び「輸送・交通要項」、「宿泊要項」の承認
8月4日	第3回総会の開催	「令和元年度事業報告」(案)、「令和元年度収支決算」(案)等について審議し、決定
9月1日	三重とこわか国体競技別会期及び競技会場の変更等の決定	日本スポーツ協会 国体委員会(文書提案)において第76回国民体育大会の「競技別会期及び競技会場の変更」、「大会参加章の意匠」が決定
10月14日	第3回常任委員会の開催	「三重とこわか国体・三重とこわか大会 開・閉会式会場の変更について」(案)について審議し、決定
10月15日	三重とこわか国体・三重とこわか大会開・閉会式会場の変更等の決定	日本スポーツ協会 国体委員会(臨時)において第76回国民体育大会の「開・閉会式会場の変更」、「競技会会期の変更」が決定
10月21日	第16回市町連絡調整会議の開催	「文化プログラム(個別プログラム)の募集」、「広報・県民運動の取組」等について説明
11月16日	第5回全国障害者スポーツ大会専門委員会の開催(書面議決)	「リハーサル大会の競技日程の変更」(案)について審議し、決定

11月18日	第17回総務企画専門委員会の開催（書面議決）	「競技別リハーサル大会代替大会の承認」（案）について審議し、決定及び「会場地市町における開催施設の変更」（案）、「会場地市町における競技日程の変更」（案）について審議
11月19日	第5回競技専門委員会の開催	「競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（案）【国体】について審議し、決定及び「中央競技役員数及び同所要経費基準」（案）、「大会実施要項（総則）の変更」（案）について審議
11月19日	第9回式典専門委員会の開催	「式典運営」（案）、「式典演技」（案）等について審議
11月24日	第5回医事・衛生専門委員会の開催（書面議決）	「弁当調達要項」（改正案）について審議し、決定
11月26日	第6回宿泊専門委員会の開催（書面議決）	「宿泊要項（三重県案）」（改正案）について審議し、決定
11月27日	会長の専決処分	「会場地市町における開催施設の変更」（案）、「会場地市町における競技日程の変更」（案）、「大会実施要項（総則）の変更」（案）、「中央競技役員数及び同所要経費基準」（案）について決定
12月10日	競技会会場及び競技日程の変更等の決定	日本スポーツ協会 国体委員会において第76回国民体育大会の「競技会会場及び競技日程の変更」、「総則の変更」、「各競技別実施要項」等が決定
1月28日	第4回馬事衛生専門委員会の開催（オンライン開催）	「馬事衛生対策要項の改正」（案）、「リハーサル大会 馬事衛生対策要項の策定」（案）、「馬事衛生対策実施要領の改正」（案）について審議し、決定
2月4日	第6回全国障害者スポーツ大会専門委員会の開催（書面議決）	「大会競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」（案）【大会】について審議し、決定
2月15日	第7回宿泊専門委員会の開催	「報道員及びその他大会関係者宿泊規程」（案）、「宿泊業務実施要領」（案）【国体】、「宿泊業務実施要領」（案）【大会】について審議し、決定
2月18日	第18回総務企画専門委員会の開催（書面議決）	「とこまる広場売店等設置運営要項」（案）、「文化プログラム」（案）、「競技別リハーサル大会代替大会の承認」（案）について審議し、決定
3月4日	三重とこわか国体・三重とこわか大会文化プログラム等の決定	日本スポーツ協会 国体委員会において第76回国民体育大会の「実施要項総則の一部変更」、「文化プログラム」等が決定
3月5日	第10回式典専門委員会の開催	「式典実施要項」（案）について審議
3月8日	第17回市町連絡調整会議の開催	「文化プログラム」、「国体チャンネル」、「炬火関連」等について説明

3月15日	第19回総務企画専門委員会の開催	「文化プログラムの変更」(案)、「開・閉会式における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」(案)について審議し、決定及び、「新型コロナウイルス感染防止対策基本方針」(案)について審議
3月15日	第4回警備・消防専門委員会の開催(書面議決)	「開・閉会式等自主警備業務実施計画」(改正案)、「開・閉会式等消防防災業務実施計画」(改正案)等について審議し、決定
3月18日	第6回競技専門委員会の開催	「競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインの改正」(案)【国体】、「競技会運営の変更」(案)等について審議し、決定
3月19日	全国障害者スポーツ大会専門委員会(書面送付)	「競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインの改正」(案)【大会】、「リハーサル大会の開催可否検討のための基本的な考え方」(案)【大会】について報告
3月24日	第6回医事・衛生専門委員会の開催(書面議決)	「三重とこわか国体・三重とこわか大会における参加可否基準」(案)について審議
3月25日	第4回常任委員会	「新型コロナウイルス感染防止対策基本方針」(案)、「リハーサル大会の開催可否検討のための基本的な考え方」(案)【大会】、「参加可否基準」(案)等について審議し、決定

2 新しい国体・大会に向けて

新型コロナウイルス感染症が発生して以降、初めてとなる両大会の開催に向けて、「選手ファースト」、「安全・安心な大会運営」、「両大会の価値の新たなかたちでの創造」という3つの視点から、開・閉会式会場の変更をはじめ両大会全般にわたる見直しを実施。

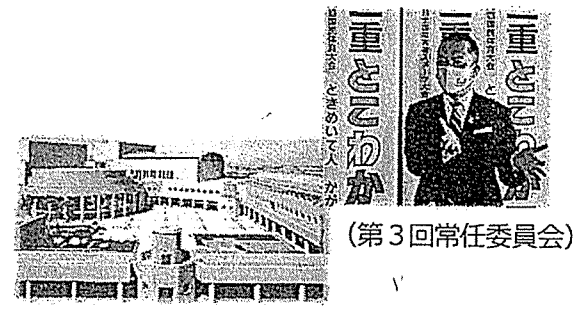
(1) 新しいかたちの開・閉会式

密を防ぐ目的から観覧者の規模を縮小し、選手の安全・安心を確保したうえで、デジタル技術を活用して両大会への想いや感動を伝えるなど、大会史上初の「オンライン式典」の準備を実施。

開・閉会式会場を三重県総合文化センターに変更

●開催規模を見直し、幅広く会場候補となる施設を検討

	三重交通G スポーツの杜 伊勢 (伊勢市)	三重県 総合文化センター (津市)
式典時間	約3.5時間	約1.5時間
観覧者数	約8,000人	約300人
選手参加者数	約3,000人	約250人 ※サテライト会場
式典関係者数	約1,800人	約250人 ※サテライト会場含む



(第3回常任委員会)

(2) 安全・安心な大会運営

市町等が不安なく会場整備や運営準備を進められるよう、感染防止対策にかかる「三重県版ガイドライン」を策定するとともに、両大会全般にわたる感染防止対策と開催可否検討のための基本的な考え方を取りまとめた感染防止対策基本方針を策定。

「三重とこわか国体 競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」

(令和2年11月策定、令和3年3月改正)

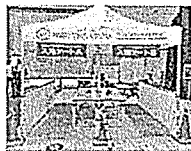
「三重とこわか大会 競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」

(令和3年2月策定)

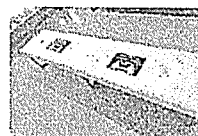
「三重とこわか国体・三重とこわか大会 開・閉会式における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」(令和3年3月策定)

「三重とこわか国体・三重とこわか大会 新型コロナウイルス感染防止対策基本方針」

(令和3年3月策定)



入場口での検温



三密の回避



接触確認アプリ「COCOA」の活用

3 広報

(1) 1年前イベント、300日前イベントの実施（令和2年10月17日、令和2年11月29日）



※1年前イベント（みえのスポーツフォーラムとして開催）

三重県選手団の新ユニフォームを発表



※300日前イベント

(2) 広報誌の発行（令和2年12月、令和3年3月）

県内全域で広く戸別配布される生活情報誌（フリーマガジン）の綴じ込み冊子として、両大会の広報誌「未来に響け！」を制作。



(3) ホームページ、SNSを活用した広報

実行委員会ホームページ、Facebook、Twitter、YouTubeを活用し、両大会の情報を発信。

特にTwitterでは、令和3年3月9日から「1日1選手紹介」を実施。

※とこまるグッズなどのプレゼントが当たるTwitterキャンペーンの実施

（令和3年2月～令和3年3月）

（4,579名のフォロワーの増加と、5,124件のリツイート）



【Twitter】



※「1日1選手紹介」

4 県民運動・ボランティア

(1) ところわかサポーターズの募集開始(令和2年7月～令和3年6月)

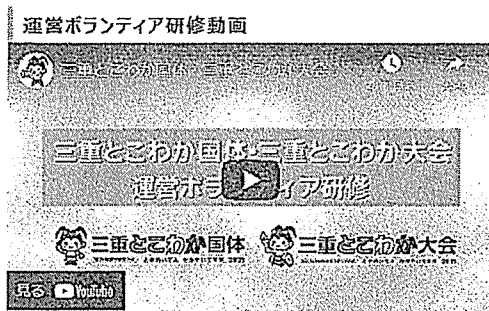
両大会に気軽に参加いただけるよう、ボランティアへの参加や選手の応援に協力していただける企業・団体等のグループを募集。

※登録企業・団体数(令和3年3月末現在) 8団体 1,307名(延べ人数)

(2) ボランティア(運営、情報支援、移動支援)の研修開始(令和3年1月～)

全国から訪れる選手・監督等をおもてなしの心で迎えるため、両大会の開・閉会式、大会の競技会場で運営の補助等を行っていただく、ボランティアを養成。

新型コロナウイルス感染防止対策として、DVDやYouTubeでの動画の視聴を基本とした研修を実施。



※運営ボランティア(令和3年3月末現在)

2,153名(延べ人数)

(3) 三重とわか大会ボランティア(情報支援、移動支援、選手団サポート)の養成

(令和2年4月～令和3年3月)

※各種ボランティア数(令和3年3月末現在)

・情報支援ボランティア 480人

(手話・筆談418人、要約筆記(手書き27人、PC35人))

・移動支援ボランティア 124人

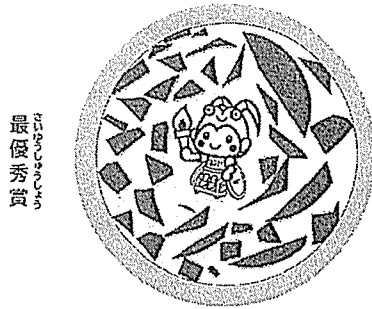
・選手団サポートボランティア

県内の看護学校、福祉専門学校及び大学の18校に協力校として委嘱

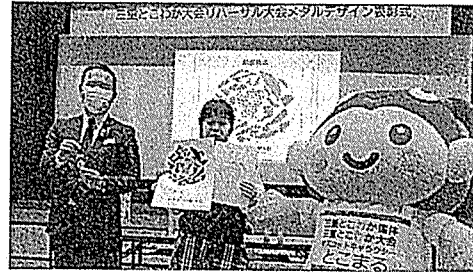
(4) 三重とこわか大会リハーサル大会入賞メダルのデザイン募集・決定

(令和2年7月～令和3年2月)

県内の特別支援学校の児童・生徒を対象に、入賞メダルデザインを募集。各校から全256点のデザインの応募をいただき、デザインを決定。

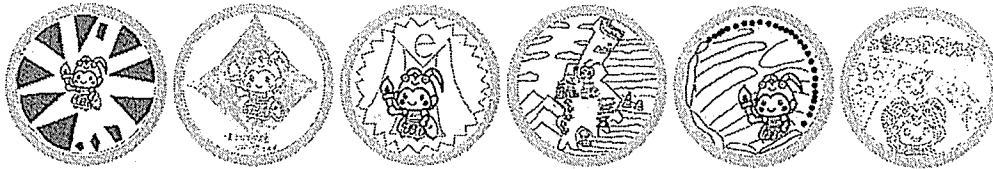


最優秀賞



※メダルデザイン表彰式

優秀賞(6点)



5 募金・企業協賛

(1) 贈呈式、伝達式の実施



贈呈式の実施(4回)



特別協賛金額伝達式

(2) 協賛企業のPR



鉄道車両において協賛企業のPRステッカーを掲出

6 競技運営

<国体>

(1) 三重とこわか国体競技役員等の養成（令和2年4月～令和3年3月）

【競技役員】

正式競技及び特別競技の運営に必要となる競技役員（審判員等の有資格者）の養成・確保のため、中央講習会への派遣や県内講習会の開催等による養成事業を実施。

○競技役員数の養成

目標人数 3,310人 令和3年3月現在 3,236人を確保

【競技補助員】

「三重とこわか国体 競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」にもとづき、競技補助員を削減。

○競技補助員数

約2.2万人（延べ人数）（先催県） → 約1.7万人（三重県）

(2) 三重とこわか国体競技役員等編成調査（最終）の実施（令和2年4月～6月）

競技役員等の確保に向け、会場地市町に対して、競技役員等編成調査（最終）を実施。

(3) 三重とこわか国体競技用具の整備（令和2年4月～令和3年3月）

ハンドボール競技のタイマー、ライフル射撃のターゲット装置、馬術競技の障害など、9競技に係る用具を整備。

<全国障害者スポーツ大会>

(1) 三重とこわか大会競技役員等の養成（令和2年4月～令和3年3月）

【競技役員】

障がい者への対応や障がい者スポーツの理解に関する研修及び競技運営主管団体による先催県の調査を実施。

また、全国障害者スポーツ大会特有競技6競技の審判員について、新規養成やフォローアップの研修を実施。4競技において必要な審判員を確保。

【競技補助員】

「三重とこわか大会 競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」にもとづき、競技補助員を削減。

○競技補助員数

約3,600人（延べ人数）（先催県） → 約3,000人（三重県）

(2) 三重とこわか大会競技会場整備（実施）設計業務の実施（令和2年4月～令和3年3月）

大会競技会場整備のため、諸室利用方法や動線計画等を検討し、必要となる仮施設・備品・サイン・装飾等に関する設計図書を作成。

7 式典

(1) 式典実施要項の策定 (令和3年3月)

式典実施にあたり、平成30年度に策定した「式典基本計画」及び令和元年度に策定した「式典実施計画」の趣旨をふまえ、詳細な式典内容を計画。

両大会の開会式ではダンスや音楽等、様々なパフォーマンスで、三重の魅力や選手への応援の気持ちを届ける「式典演技」を計画。

「式典演技」における少年探偵団役の子役について、公募によるオーディションを実施。

(応募者数 83名)



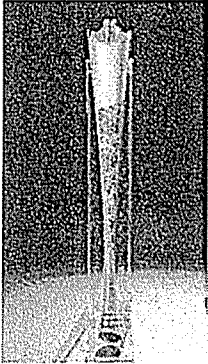
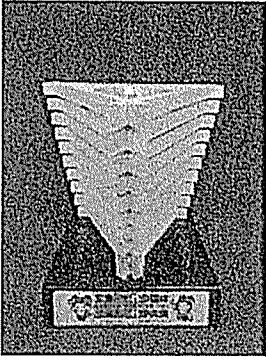
※イメージ

(会場の物理的、技術的制約により変更となる可能性あり)



※子役募集チラシ

(2) 炬火トーチ及び炬火受皿の制作 (令和2年6月～令和2年11月)

<p style="text-align: center;">炬火トーチ</p> <p>※両大会の開・閉会式で炬火台への点火等に使用するほか、炬火イベントで使用。 (公募した結果、1922件の応募からデザインを決定)</p>	<p style="text-align: center;">炬火受皿</p> <p>※炬火イベント等で炬火を灯し、披露するための受皿。 (第30回みえ国体で使用した受皿のデザインを踏襲)</p>
	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的なカラーは、パールホワイトで真珠を表現 ・トップの形は恵み豊かな三重の海と緑あふれる三重の山々を表現 ・中心から持ち手の部分は三重県の伝統工芸である「伊勢型紙」をイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材部分は、昭和50年頃に植樹した県産ヒノキを使用

(3) 式典音楽の楽曲制作及び録音会実施 (令和2年4月～令和3年3月)

両大会の式典で使用する音楽のCDを制作するため、「式典音楽録音会」を実施。

○実施日

令和3年2月28日(日) 演奏団体 : 白子ウインドシンフォニカ

令和3年3月22日(月) 演奏団体 : 三重県立白子高等学校吹奏楽部
三重県警察音楽隊

令和3年3月31日(水) 演奏団体 : 皇學館高等学校吹奏楽部
歌唱者(伊藤 晴、相可 佐代子、
市川 和彦、谷 友博)

8 開・閉会式会場整備

・開・閉会式会場等整備(実施)設計業務の実施(令和2年4月～令和3年3月)

開・閉会式会場整備のため、諸室利用方法や動線計画等を検討し、必要となる仮施設・備品・サイン・装飾等に関する設計図書を作成。

9 警備・消防

・開・閉会式会場等警備計画の策定(令和2年7月～令和3年3月)

開・閉会式会場及び三重とこわか大会競技会場における選手や来場者の安全を確保するとともに、円滑に来場いただけるよう、自主警備、交通警備及び防災対策に関する計画を策定。

10 輸送・交通

・輸送実施計画(第2次)の策定(令和2年4月～令和3年3月)

選手等参加者を安全・確実かつ円滑に輸送するため、令和元年度に策定した輸送実施計画(第1次)を基に、両大会の開・閉会式輸送計画及び三重とこわか大会競技会輸送計画の策定、輸送力の確保、交通対策の検討、バスの配車・運行管理体制の構築等を実施。

11 宿泊

(1) 第2次仮配宿計画の策定(令和2年4月～令和3年3月)

両大会に参加する選手・監督及び競技役員等の配宿について、宿泊施設の提供意向数や市町ヒアリング等をふまえ仮配宿計画を策定。

(2) 「三重のレシピ集」サイトの作成(令和2年4月～令和3年3月)

多彩な食文化をもつ“三重の食の魅力”を多くの方々に知っていただくため、県内市町から提供いただいた郷土料理や名物料理、特産品を使用した料理などのレシピを紹介。



12 医事・衛生、弁当

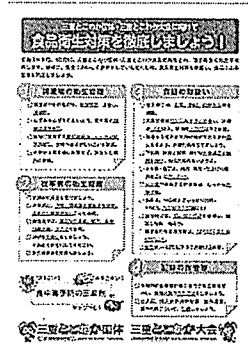
(1) 医療救護体制確保に向けた関係機関との調整、依頼（令和2年4月～令和3年3月）

各郡市医師会や病院等を訪問し、各会場に設置する救護所への医師・看護師・歯科医師の派遣を依頼。

(2) 食品衛生講習会の開催、衛生関係の各種啓発物・手引きの作成

（令和2年8月～令和3年3月）

弁当調製施設を対象とした講習会の実施や「宿舍衛生・食品衛生の手引き」、衛生啓発チラシ、手洗いポスターを作成。



(3) 弁当調製施設の選定（令和2年11月～令和3年2月）

大会の競技会場において、選手・監督やボランティアなどに対して弁当を提供するため、公募により弁当調製施設を選定（13事業者）。

13 後催県との連携

(1) 令和2年度第1回国体開催県検討会議（滋賀県：Web会議）への出席（令和2年8月）

(2) 令和2年度第2回国体開催県検討会議（青森県：Web会議）への出席（令和3年1月）

14 関係機関・団体との調整

・市町及び競技団体との連携強化を図るため、連絡調整会議等を開催

（令和2年6月、10月、令和3年3月）

令和2年度収支決算(案)

1 収入の部

(単位:円)

科目	当初 予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)	差額 (A) - (B)	備考
負担金	620,409,000	407,908,000	302,935,382	104,972,618	三重県負担金 (不用額は三重県へ返納)
使用料	0	286,000	320,202	▲ 34,202	マスコット等使用料
協賛金	53,273,000	53,727,000	70,727,273	▲ 17,000,273	協賛金収入
繰越金	96,727,000	96,727,000	96,727,383	▲ 383	協賛金繰越金等
諸収入	0	5,000,000	5,000,000	0	三重とこわか国体・三重 とこわか大会への助成金
計	770,409,000	563,648,000	475,710,240	87,937,760	

2 支出の部

(単位：円)

科目	当初 予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)		差額 (A) - (B)	備考	
事業費	614,358,000	404,644,000	300,760,521		103,883,479	①協賛用消耗品 (1,540,000) ②広報誌制作業務 (9,000,000) ③炬火トーチ等制 作業務委託 (9,469,900) ④競技用具の購入 (25,151,500) 開・閉会式会場等整 備設計業務委託 ⑤(16,129,200) ⑧(4,399,000) 輸送実施計画(第2 次)策定業務委託 ⑥(17,261,000) ⑧(16,600,740) ⑨競技会場設備設 計業務 (19,259,174)	
			①総務費	6,890,636			
			②広報・県 民運動費	58,190,171			
			③式典関 係費	30,145,465			
			④競技関 係費	71,022,616			
			⑤会場整 備費	24,007,293			
			⑥輸送交 通対策費	19,283,733			
			⑦宿泊衛 生関係費	4,873,487			
			⑧大会運 営費 (大会)	55,369,542			
			⑨大会競 技費 (大会)	30,977,578			
事務局 費	6,051,000	8,264,000	7,174,861		1,089,139	事務局運営費	
			内	事務局費 (国体)			6,460,512
			訳	事務局費 (大会)			714,349
寄附金	0	286,000	320,202		▲ 34,202	三重県へ寄附 (マスコット等使用料)	
協賛金 繰越金	150,000,000	150,454,000	167,454,656		▲ 17,000,656	翌年度へ繰越	
計	770,409,000	563,648,000	475,710,240		87,937,760		

収入の部 合計 475,710,240円

支出の部 合計 475,710,240円

差引 0円


監 査 報 告

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会会則第 17 条に基づき、令和 2 年度における収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が概ね適正であったことを認めます。

令和 3 年 6 月 15 日

監 事


三重県会計管理者

森 靖洋 

令和 3 年 6 月 22 日

監 事

四日市市 会計管理者

田中 賢二 

令和 3 年 6 月 22 日

監 事

木曾町 会計管理者

山田 克己 

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会
会 長 鈴 木 英 敬 様

令和3年度事業計画（案）

三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）の成功に向け、次の事業を行います。

1 開催準備・運営の主要業務

コロナ禍にあっても安全・安心に開催できる、新しい国体・大会を県民の皆さん、すべての参加者の皆さんにお示ししつつ、ご理解、ご共感いただけるよう、努力していくことが必要です。

そのため、大会史上初のオンライン式典や新しい観戦の仕組みをはじめとする「新しい両大会の姿」、感染防止対策の取組やすべての参加者がとるべき対策などの「感染防止対策の姿」、そして、両大会での活躍に向けて人生を懸ける「選手の姿」を発信することで、両大会への期待感を高めつつ、すべての皆さんが安心して参加していただけるよう、取り組んでいきます。

(1) 両大会における新型コロナウイルス感染防止対策及び対応

万全な感染防止対策を実施し、両大会を安全・安心に開催するため、以下の取組を実施。

①感染防止対策基本方針

- ・開催可否及び観客の取扱いについて、検討スケジュールに基づき検討し、その内容を公表。
- ・県民力を結集した大会をめざして、可能な限り観客を受け入れられるよう感染防止対策の徹底に取り組む。
- ・県民の命と健康を守るという観点から、無観客での開催とする場合の判断基準など観客対応の基本的な考え方を新たに規定。

②両大会競技会における感染防止対策ガイドライン

- ・新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、日本スポーツ協会や中央競技団体のガイドライン等の改正状況、東京2020大会など大規模スポーツイベントにおける新たな対策なども参考に、適宜ガイドラインを見直し、実効性を確保。

③PCR検査の参加条件化

- ・選手の安全を守り、県内及び選手等の帰県による各都道府県への感染拡大を防ぐため、両大会の参加条件として、参加前のPCR検査受検や厳格な行動制限を検討。

(2) 広報・県民運動に関すること

- ・三重とこわか国体開催 70 日前・三重とこわか大会開催 100 日前イベント（7 月 17 日）、みえのスポーツフォーラム（8 月中旬）の開催

国体開催 70 日前・大会開催 100 日前イベントでは、オリンピック出場経験がある、三重県ゆかりの選手によるステージイベントのほか、両大会開会式での「とこわかダンス」の披露をめざすダンスコンテストなどを予定。

- ・テレビ・ラジオ、SNS、広報誌などによる情報発信
テレビやラジオによる、両大会の情報発信や選手の紹介
Twitter における「1 日 1 選手紹介」
- ・「チームみえ選手名鑑」の WEB 公開（8 月下旬）
チームみえの選手一人ひとりのプロフィールやコメントを掲載
- ・「観戦ガイドブック」の配布、WEB 公開（8 月下旬）
競技会場、開催スケジュールに関する情報を集約して掲載
- ・県民運動（とこわか運動）の推進
両大会を盛り上げていただく「とこわか運動」を県内で実施
（とこわか運動登録件数 1,100 件 ※7 月 9 日現在）

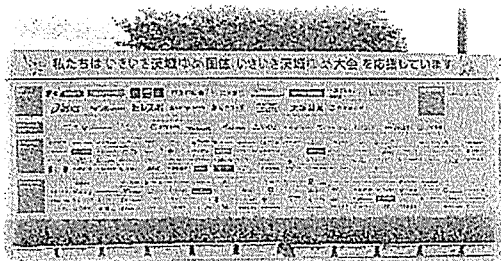


(3) ボランティアに関すること

- ・運営ボランティア、情報支援ボランティア等の養成
両大会を多くの方々に支えていただくため、運営ボランティアに延べ 2,658 名、情報支援ボランティアに 478 名、移動支援ボランティアに 119 名が参加予定。
各ボランティアの皆さんが両大会で安心して活動できるよう研修を実施するとともに、会場における感染防止対策など受入環境も整備。

(4) 募金・企業協賛に関すること

- ・企業・団体に対する支援の依頼
- ・支援いただいている企業・団体の PR
両大会の各競技会場における PR 看板の掲出や観覧ガイドブックへの広告掲載など



※先催県の例

(5) 競技運営に関すること

・実施競技

<国体>

正式・特別競技の38競技全競技を県内で実施。

ビーチバレーボールやトランポリンなどの東京オリンピック対策追加競技8競技10種目を実施。(茨城国体同様に最多)

公開競技5競技、デモンストレーションスポーツ32競技を実施。



<大会>

正式競技14競技(個人競技7競技、団体競技7競技)、オープン競技2競技を実施。

・安全・安心な競技会運営

競技会における感染防止対策ガイドラインに基づき、安全・安心な大会運営を実施。

・ICTを活用した大会競技会運営

【全国障害者スポーツ大会初の取組】

「歩行者ナビゲーション」の導入や聴覚障がい者への要約筆記をオンライン化するなど、ICTを活用した支援ツールによる競技会運営を実施。

・来場者管理システム

両大会の開・閉会式の受付・配席、大会競技会の観覧申込受付・配席及び電子入場券の発券をシステムで対応。

国体の競技会においても、希望する市町の競技会において活用。



※入場券(紙)イメージ



※入場券(電子チケット)イメージ

・国体チャンネル、三重とこわか大会チャンネルによる競技配信



国体チャンネル

- ・国体開催期間中、インターネットで全競技会の決勝戦を配信
 - ※一部予選も配信
 - ※競技終了後も、アーカイブで視聴可
- ・SNS等を活用し、県民の皆さんの応援の声を選手に届ける



チームみえ選手名鑑

- ・チームみえの選手を知る
- ・8月下旬にWEB公開

スマホ一つで
チームみえを応援



観戦ガイドブック

- ・競技会会場、スケジュールを確認して観戦を計画する
- ・8月下旬に配布開始、WEB公開

(6) 式典に関すること

・炬火イベントの実施（4月～8月）

県民の皆さん自らの手で「炬火」を採火・集火するイベントを全 29 市町で実施。

9月25日の国体総合開会式において、各市町の代表者1名がそれぞれ採火した炬火を持ち寄り、一つに集めて炬火台へ点火。

・総合練習会の実施（9月1日、2日）

両大会の開・閉会式を構成する各種プログラムや式典演技の出演者、スタッフ等が参加し、本番に準じたタイムスケジュールにより出演、運営・進行等を行うことで、式典全体の完成度を高める。

・大会史上初の「オンライン式典」の実施

両大会の開・閉会式については、選手の安全・安心を確保したうえで、デジタル技術を活用して両大会への想いや感動を伝えるなど、大会史上初の「オンライン式典」を実施。

また、様々なパフォーマンスにより三重県の魅力を発信しながら、選手の皆さんに応援の気持ちを贈る「式典演技」は、「Gift from Mie ～選手に届け. とこわかのか～」と題し、本県出身の小説家 江戸川乱歩の「少年探偵団」シリーズをモチーフに、「謎解き」をテーマとしたストーリーで、演技を展開。



※オンライン式典イメージ



※明智小五郎、少年探偵団イメージ

(7) 開催に向けた基盤整備に関すること

・開・閉会式会場、大会競技会場整備の実施

三重県総合文化センターで行われる両大会の開・閉会式に必要な仮設設営や会場装飾、通信などの会場整備を実施。また、大会競技会場においては、安全性、機能性、快適性ととも、大会の特性を十分に配慮した会場整備を実施。

・開・閉会式会場等における警備の実施

両大会の開・閉会式、大会の競技会場において、関係者や施設管理者等と連携し、会場警備、交通警備を実施。

- ・輸送実施計画（最終）の策定及び輸送業務の実施

選手等参加者を限られた時間内に安全・確実かつ円滑に輸送するため、両大会の開・閉会式、三重とこわか大会競技会の輸送実施計画（最終）を策定し、輸送力の確保、駐車場等の運用、バスの配車・運行及び交通対策など必要な輸送業務を実施。

- ・最終配宿計画策定及び配宿の実施

両大会において、確実かつ効率的に宿泊施設を提供するため、最終配宿計画を策定し、配宿を実施。

- ・医療救護の実施、衛生啓発物の作成、三重の食材を活用した弁当の提供

両大会の開・閉会式、三重とこわか大会競技会への参加者の傷病発生に速やかに対処するため、救護所を設置。両大会の開・閉会式、三重とこわか大会競技会において、選手、監督やボランティアなどに対して昼食弁当を提供。

(8) 上記以外の開催準備・運営に関すること

2 会議の開催

- (1) 総会（7月、3月）
- (2) 常任委員会（7月）
- (3) 専門委員会（6月、7月）

3 後催県等との連携

- (1) 開催県検討会議（青森県） 6月
- (2) 開催地連絡協議会（三重県） 11月
- (3) 後催県報告会（三重県） 11月

令和3年度収支予算(案)

1 収入の部

(単位:千円)

科目	予算額	概要
負担金	4,122,957	三重県負担金・市町等負担金
協賛金	65,046	協賛金収入
繰越金	167,455	協賛金繰越金
合計	4,355,458	

2 支出の部

(単位:千円)

科目	予算額	概要
事業費	4,267,189	
総務費(国体)	220,521	・来場者管理業務 15,937 ・募金・企業協賛推進活動 74,397
広報・県民運動費(国体・大会)	231,263	・国体チャンネル 55,000 ・テレビ番組 35,640 ・テレビ、ラジオスポットCM 11,880
競技関係費(国体)	278,797	・記録システム運用業務 35,242 ・競技役員等養成業務 70,683
式典関係費(国体)	630,286	・式典準備・運営業務 529,811
会場整備費(国体)	287,372	・開・閉会式会場仮施設整備業務 164,577 ・開・閉会式会場等警備業務 82,300
輸送交通対策費(国体)	182,702	・輸送実施計画(最終)策定及び輸送業務 180,453
宿泊衛生関係費(国体)	80,085	・配宿業務 57,745 ・弁当調達業務 9,050
大会運営費(大会)	1,249,060	・来場者管理業務 17,381 ・情報支援ボランティア養成事業 5,188 ・式典準備・運営業務 61,396 ・開・閉会式会場仮施設整備業務 82,497 ・配宿業務 72,224 ・輸送実施計画(最終)策定及び輸送業務 742,215 ・開・閉会式会場等警備業務 170,673
大会競技費(大会)	1,107,103	・競技会場整備業務 866,148 ・競技運営費 68,379
事務局費	88,269	
事務局費(国体)	86,960	事務局運営費
事務局費(大会)	1,309	事務局運営費
合計	4,355,458	

※負担金収入及び事業費支出のうち、55,072千円については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度中に履行できなかった、式典の録音会にかかる経費です。

三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催可否及び観客対応の決定

手続きについて（案）

両大会の開催可否や観客対応の決定については、今後の感染状況に応じた的確かつ迅速な対応が求められることから、それぞれ実行委員会常任委員会で承認いただいた基本的な考え方にに基づき、以下の手続きで対応します。

1 開催可否

(1) 三重とこわか国体

- ① 緊急事態宣言の発令、三重県緊急警戒宣言の発令、医療機関の感染症受け入れが対応不可となる恐れがあるなどの状況が生じた場合、開催可否検討のための基本的な考え方及び検討スケジュール（別紙1）に基づき、開催県として開催可否を検討します。
- ② 検討結果をもとに、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）、文部科学省と開催可否について主催者間協議を行います。
- ③ 主催者間で大会の中止やむなしとの結論に至った場合、日本スポーツ協会国体委員会で三重とこわか国体の中止を決定し、発表します。
- ④ 決定後、実行委員会各委員へお知らせします。
- ⑤ 決定後1か月以内に実行委員会総会を開催し、中止に至った経緯を説明するとともに、延期の是非についてお諮りします。

(2) 三重とこわか大会

- ① 緊急事態宣言の発令、三重県緊急警戒宣言の発令、医療機関の感染症受け入れが対応不可となる恐れがあるなどの状況が生じた場合、開催可否検討のための基本的な考え方及び検討スケジュール（別紙1）に基づき、開催県として開催可否を検討します。
- ② 検討結果をもとに、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（以下「日本障がい者スポーツ協会」という。）、文部科学省と開催可否について主催者間協議を行います。
- ③ 主催者間で合意のうえ、三重とこわか大会の中止を決定し、各主催者が発表します。
- ④ 決定後、実行委員会各委員へお知らせします。
- ⑤ 決定後1か月以内に実行委員会総会を開催し、中止に至った経緯を説明するとともに、延期の是非についてお諮りします。※⑤は三重とこわか国体と一体で判断

両大会を一体で判断する必要がある場合は、(1)及び(2)を同時に行います。

2 観客の扱い

(1) 三重とこわか国体

- ① 県民の皆さんへの外出自粛や県外への移動の自粛の要請、県外の方への来県自粛のお願い、他都道府県での緊急事態宣言の発令などの状況が生じた場合、感染拡大防止の観点から、観客対応の基本的な考え方及び検討スケジュール（別紙2）に基づき、開催県として観客対応を検討します。
- ② 検討結果をもとに、日本スポーツ協会、文部科学省と観客対応について主催者間協議を行います。
- ③ 主催者間で無観客（一律・県外）での実施に合意したのち、三重県が無観客での開催を発表します。その後、日本スポーツ協会国体委員会に報告します。
- ④ 決定後、実行委員会各委員へお知らせします。

(2) 三重とこわか大会

- ① 県民の皆さんへの外出自粛や県外への移動の自粛の要請、県外の方への来県自粛のお願い、他都道府県での緊急事態宣言の発令などの状況が生じた場合、感染拡大防止の観点から、観客対応の基本的な考え方及び検討スケジュール（別紙2）に基づき、開催県として観客対応を検討します。
- ② 検討結果をもとに、日本障がい者スポーツ協会、文部科学省と観客対応について主催者間協議を行います。
- ③ 主催者間で無観客（一律・県外）での実施に合意したのち、三重県が無観客での開催を発表します。
- ④ 決定後、実行委員会各委員へお知らせします。

両大会を一体で判断する必要がある場合は、(1) 及び (2) を同時に行います。

3 「三重県内医療機関の感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合」の考え方

1 の開催可否検討において、感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合の判断に必要な指標や水準について、別紙3のとおり整理しました。

10 開催可否検討のための基本的な考え方

三重県は、以下の状況が生じた場合、枠組み内の考え方に基づき、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、文部科学省の他の主催者と大会開催可否について協議します。

① 新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令又はまん延防止等重点措置が公示された場合

ア：全国が緊急事態措置区域となった場合

全都道府県が対象区域となる場合、国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼす状況であることから、中止を視野に入れ、総合的に判断する。

イ：三重県以外の都道府県が緊急事態措置区域となった場合

首都圏、関西圏、生活文化圏を共有する愛知県、岐阜県などが対象区域になる場合、各地域の感染状況や感染拡大リスク等を踏まえ、中止も視野に入れ、総合的に判断する。

ウ：三重県が緊急事態措置区域もしくはまん延防止等重点措置区域となった場合

イベントの原則開催自粛や施設使用制限が求められるなど、大会開催に大きな影響が生じる場合は、中止を視野に入れ、総合的に判断する。

なお、一部の市町がまん延防止等重点措置地域となった場合は、影響を受ける実施競技数や競技運営に係る者への影響などもあわせて考慮する。

② 三重県独自の緊急事態宣言（緊急警戒宣言）等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合

イベントの原則開催自粛や施設使用制限が求められるなど、大会開催に大きな影響が生じる場合は、中止を視野に入れ、総合的に判断する。

③ 三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合

中止も視野に入れ、総合的に判断する。

④ 各都道府県選手団の参集が困難な場合（申込済み参加都道府県数の1/4以上） ※国体のみ。大会については（公財）日本障がい者スポーツ協会等と今後協議。

⑤ 予選会の開催及びその代替手段による選手選考が困難な場合（予選会の2/3程度に影響を生じた場合）

※国体のみ

⑥ 競技会に参加している者及び競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症

感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合

- ⑦ その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合

国体・大会開催可否検討スケジュール

以下のとおり、時期別に①～⑦の項目を適用し開催可否を検討する。

時期		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		緊急事態宣言	県独自宣言	医療受入不可	参集困難	予選困難	感染者発生	その他
4月末	都道府県予選状況	—	—	—	—	○	—	—
5月末	都道府県・ブロック予選見込み状況	—	—	—	—	○	—	—
6月末	ブロック予選直前状況	—	—	—	—	○	—	—
7月末	ブロック予選開催状況	—	—	—	—	○	—	—
8月14日	会期前競技開始3週間前	○	○	○	○	—	○	○
9月4日	国体開会式3週間前	○	○	○	○	—	○	○
9月23日	国体開会式直前	○	○	○	○	—	○	○
9月30日	大会来県日3週間前	○	○	○	○	—	○	○
10月17日	大会来県日直前	○	○	○	○	—	○	○

※8月までの間に①～③に該当する状況となった場合は、開催可否について随時検討を行う。

1.1 観客対応についての基本的な考え方

三重とこわか国体・三重とこわか大会の観客対応については、三重県指針等によるイベントの開催基準にしたがうことを原則としたうえで、観客については、国の基準よりも厳しい収容率の50%かつ5,000人を上限とします。なお、会場や競技の性質上、選手と観客の動線分離などの感染対策の徹底ができない場合には競技会ごとに無観客とします。

そのうえで、以下の状況が生じた場合は、全競技一律で観客等の対応について、枠囲み内の考え方に基づき、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、文部科学省の他の主催者と協議します。

- ① 三重県に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令又はまん延防止等重点措置が適用された場合

(一律無観客を検討)

県民に対して外出自粛を要請している場合は、一律無観客での開催を視野に入れ、総合的に判断します。

- ② 三重県独自の緊急事態宣言(緊急警戒宣言)等の発令がされた場合

(一律無観客または県外無観客を検討)

県民に対して県外への移動を避けるよう強く要請するとともに、県外の方に来県の自粛をお願いしている場合は、一律無観客または県外無観客(観客を三重県民に限定)での開催を視野に入れ、総合的に判断します。

- ③ 他都道府県に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令又はまん延防止等重点措置等が適用された場合

(一律無観客または県外無観客を検討)

宣言等が発令されている都道府県数や感染状況などを踏まえて、一律無観客または県外無観客での開催を視野に入れ、総合的に判断します。

①～③の判断を行うにあたっては、宣言の内容はもとより、三重県指針等によるイベント開催基準の内容、他の大規模スポーツイベントの観客対応方針、県内の医療提供のひっ迫状況などを踏まえて総合的に判断いたします。

また、②、③の場合は、県外者への周知の浸透度、来場者の申込方法による事前把握の確実性、当日受付対応におけるトラブル回避の方策などの面から、県外無観客の実効性が確保できる場合は県外無観客、確保できない場合は一律無観客とします。

国体・大会観客対応検討スケジュール

以下のとおり、時期別に①～③の項目を適用し観客対応を検討する。

時期		①	②	③
		緊急事態 宣言	県独自 宣言	他都道府県 宣言
7月末	競技会観戦 申込開始時期	○	○	○
8月14日	会期前競技開 始3週間前	○	○	○
9月4日	国体開会式 3週間前	○	○	○
9月30日	大会来県日 3週間前	○	○	○

※上記の日程以外にも①～③に該当する状況となった場合は、観客対応について随時検討を行う。

「三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合」の考え方

○三重とこわか国体について、会期前競技開始日（9月4日）時点において、以下の指標の水準を全て満たしている場合、一定程度の新規感染者の増加を考慮しても、国体開催期間中の医療提供体制の維持は可能と判断する。

	県指標 (政府指標)	政府指標	県指標	県指標 (政府指標)	県指標 (政府指標)	(参考) 1週間新規数 (1日あたり)
	病床利用率	重症病床 利用率	直近1週間人口10万人あた り、新規感染者数	直近1週間と 先週1週間の比較	感染経路 不明割合	
目安 となる 水準	20%未満	20%未満	4人未満	1.0倍以下	20%未満	70人未満 (10人/日 未満)
	注意レベル未満 (ステージⅢ未満)	ステージⅢ未満	注意レベル未満	注意レベル以下 (ステージⅢ以下)	注意レベル未満 (ステージⅢ未満)	

○一方で、会期前競技開始日（9月4日）時点において、以下の指標の全てが目安の水準に達している場合、「三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合」に該当するものと判断する。

	県指標 (政府指標)	政府指標	県指標 (政府指標)	(参考) 1週間新規数 (1日あたり)
	病床利用率	重症病床 利用率	直近1週間人口10万人あた り、新規感染者数	
目安 となる 水準	30%以上	20%以上	8人以上	140人以上 (20人/日以上)
	警戒レベル以上	ステージⅢ以上	警戒レベル以上	

○上記以外の場合、各指標の状況や傾向をふまえ「三重県内医療機関の新型コロナウイルス感染症受け入れが対応不可となる恐れがある場合」への該当性を判断する。

○開催可否検討スケジュールに基づき、8月14日（会期前競技開始3週間前）時点において、上記指標を想定し判断する。

○三重とこわか大会についても、開催可否検討スケジュールに基づき、9月30日（大会来県日3週間前）時点において、上記指標をベースに、国体開催時の状況もふまえ判断する。

